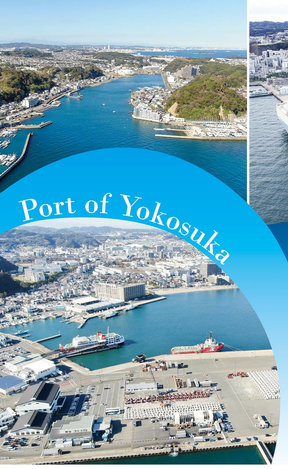


1 横須賀港の沿革

横須賀港は、幕末元年(1865年)、徳川幕府の勘定奉行であった小栗上野介忠順とフランス人技師フランソワ・レオンス・ヴェルニーが、横須賀村に製鉄所(造船所)の建設を開始したのがその起源である。その後、明治17年(1884年)に横須賀鎮守府が設置されて以来、軍港として発展を遂げてきた。

終戦後、横須賀港は、昭和23年(1948年)1月1日に貿易港の指定を受け、昭和25年(1950年)の「旧軍港市転換法」の施行によって、横須賀市は「平和産業港湾都市」として新たな歩みを始め、横須賀港は、昭和26年(1951年)1月19日には港湾法の規定により「重要港湾」に、また同年9月22日には「準特定重要港湾」(国内産業開発上特に重要な港湾)に指定され、その後、昭和28年(1953年)4月1日に横須賀市が港湾管理者となった。

横須賀港は、昭和42年(1967年)9月に策定した横須賀港港湾計画に基づき、横須賀市によって整備が進められている。その後、港湾計画は一部変更、改訂を経て、直近では平成17年(2005年)3月に改訂され、現在に至っている。

横須賀港は、北は追浜地区から南は野比地区まで13の地区からなり、主な地区の特色は次のとおりである。

追浜地区は、自動車、造船をはじめとする本市最大の臨海工業団地が形成され、港湾取扱貨物は、主に完成自動車や鋼材などが専用ふ頭で取り扱われている。

長浦地区は、力つて食糧輸入、自動車輸出、捕鯨基地などで賑わっていたが、現在は、主に砂利・砂、廃土砂を取り扱うとともに、防衛機能が集約統合されている。

本港地区は、在日米軍基地及び海上自衛隊横須賀地方総監部をはじめとする自衛隊施設が集中している。

新港地区は、ソーラス条約に対応し、完成自動車の輸出や水産品(冷凍マグロ)の輸入・移入が行われるだけでなく、クルーズ船の寄港の際にも利用されている。また、令和3年(2021年)7月には、北九州との間にフェリー航路が開設され、関東と九州を結ぶ物流ルートとしての利用が始まっている。令和4年(2022年)秋には、「よこすかポートマーケット」のリニューアルオープンも予定されており、横須賀港のさらなる活性化が見込まれる地区である。

平成地区は、砂利・砂等の建材を扱うほか、背後地には海辺ニュータウンとして、事業所、工業施設、うみかぜ公園などの港湾緑地、住宅、商業施設が整備され、総合的なまちづくりが進んでいる。

浦賀地区には、マリーナやボートパークが整備され、プレジャーボート等の係留施設として利用されている。また、日本ではこの地区にしか現存していない鹿鳴ならしが造りのドライドックがある。

久里浜地区は、砂利・砂等の建材、廃土砂等、内貿貨物取扱施として利用されている。また、千葉県浜金谷港を結ぶフェリーやゴールデンウィーク及び夏期を除く時期に、東京諸島(伊豆諸島)を結ぶ旅客船が定期航路として運航している。なお、当地区は東京湾口部に位置し、船舶で混雑する浦賀水道航路を通らずに利用できる地理的優位性がある。

海軍工廠造船台　大正14年（本港地区）

2 自然状況

(1) 位置と地勢

横須賀港は、神奈川県中央部より南東へ突き出した三浦半島の東岸、北緯35度12分～35度19分、東経139度38分～139度45分の東京湾口部にあり、東は東京湾を6海里(11.1km)隔てて房総半島と相対し、北は横浜を経て東京区間路55km、海路25海里(46.3km)に位置している。海岸線は多数の入江を形成し、水際近くまで水深が深い。背後は高さ50～100m前後の起伏ある丘陵に囲まれ、開口部が狭隘であることから、天然の良港となっている。港内は穏やかで、湾奥は外海に面した相模湾に比べ、台風時にあっても安全な泊地条件に恵まれ、船舶の出入に適している。

(2) 地質

横須賀市の地質は三浦層群、葉山層群、沖積層を基盤として構成され、岩石は泥岩と砂岩でこれに少量の緑色凝灰岩を伴っている。港内の海底下の地質構成は第3紀三浦層群を基盤とし、これを覆う沖積世の成田層群、最上位の沖積層といった層序で示される。横須賀港の海底は、水深10～60m附近に岩盤層があり、その上は粘性土層及び砂層に覆われている。

(3) 風向

風向については、年間を通して北～東北東の風が多く、風速10m/s以上の風も多くなっている。季節別では、春、秋、冬季は北～北東の風が、夏季は南～南西の風が多くなっている。

(4) 潮流

東京湾の潮流は、潮汐の昇降によって生じ、湾奥部の流れは弱くほとんど0.5ノット(0.93km/h)以下であるが、湾口に向かうにつれて徐々に速くなり、観音埼と富津岬の中間附近では1.3～1.8ノット(2.41～3.33km/h)に達する。潮流の向きは、一般に湾奥部では上げ潮時が北～北東、下げ潮時が南～南西、湾口部では上げ潮時が北西、下げ潮時が南東となっている。

横須賀港の長浦～平成地区附近の潮流は、季節的変化はあるが微弱でほとんど0.5ノット(0.93km/h)以下である。平成地区沿岸の潮流は、沖合に比べると海岸や海底地形の影響を受け、流向は海岸線に沿った流れとなっている。

浦賀地区の港内への潮流は、極めて微弱でほとんど0.3ノット(0.56km/h)以下であり、港口附近の潮流は微弱だが風の影響を受けやすく、概ね上げ潮時は北流し、下げ潮時は南流する。久里浜地区の港内への潮流は、港口の浦賀瀬と外防波堤との中間海面では、上げ潮時は北北東に、下げ潮時は南南西に流れ、流速はそれぞれ約1.5ノット(2.78km/h)、約1.3ノット(2.41km/h)である。

3 横須賀港港湾計画

※港湾計画は、平成17年(2005年)3月改訂版です。

(1) 計画の方針

1．暮らしの豊かさと安心の向上　2．環境施策の充実と推進　3．物流機能の強化と再編　4．活力ある産業空間の形成

を柱として、その内容は次のとおりである。

○ 港湾における快適な環境の創出を図る親水空間の充実及び地域住民等の交流に寄与する交流空間の形成を図る。
○ 地域住民及び観光客等の利便性の向上、横須賀港の魅力向上に資する内航旅客船ふ頭を整備する。
○ 東京湾内で貴重となった自然環境や横須賀固有の歴史・文化を保全するとともに、海域環境の再生を図る。
○ 港湾荷役企業の物流の効率化、輸送コストの削減、環境負荷の低減のため、湾口地区における複合一環輸送機能等の整備による物流機能の充実・強化を図る。
○ 大規模地震に対処するため、緊急避難及び緊急物資輸送のための耐震性の高い港湾施設を整備する。
○ 効率性、安全性、快適性の高い空間を形成するため、陸域350ha、水域5,500haからなる港湾空間を以下のように利用する。
- 長浦地区、新港地区、平成地区、久里浜地区は物流関連ゾーンとする
- 新港地区、平成地区、浦賀地区は交流拠点ゾーンとする
- 追浜地区は生産ゾーンとする
- 久里浜地区発電所周辺はエネルギー関連ゾーンとする
- 深浦地区、長浦地区、平成地区、大津地区、馬堀地区、浦賀地区は緑地レクリエーションゾーンとする
- 走水地区、鴨居地区、久里浜地区は船ざまり関連ゾーンとする
- 猿島、走水地区、鴨居地区、久里浜地区、野比地区の海域は自然環境保全ゾーンとする

(2) 取扱貨物量の目標

外貿：　300万トン
内貿：2,210万トン
　（うちフェリー1,220万トン）
合計：2,510万トン

(3) 港湾施設の規模と配置

裏面地図のとおり

馬堀海岸高潮対策護岸（馬堀地区）

フェリーの荷役の様子（新港地区）

4 施設の状況

(1) 港湾区域

本港の港湾法に基づく港湾区域は、横須賀市夏島町地先最北端（北緯35度19分49秒、東経139度38分26秒）の地点、同地点から63度50分2,470mの地点、同地点から46度30分1,450mの地点、観音埼灯台（北緯35度15分22秒、東経139度44分43秒）から90度1,000mの地点及び同地点から海鹿島燈標（北緯35度12分43秒、東経139度44分07秒）を見透し7,000mの地点を順次に結んだ線、同地点から290度に引いた線並びに陸岸により囲まれた海面で、その面積は55,250,000㎡であり、海岸線の延長は61,000mである。

(2) 港湾区分

港区	面積(㎡)	港則法による境界	停泊すべき船舶
第1区	1,818,200	吾妻埼から119度に引いた線（以下A線という。）荒三塚ノ鼻から240度に引いた線（以下B線という。）及び陸岸により囲まれた海面	各種船舶及び係留施設に係留する場合における危険物を積載した船舶。ただし、雑種船は、沿岸付近に限る。
第2区	1,410,400	吾妻島北端から331度に引いた線（以下C線という。）B線及び陸岸により囲まれた海面	
第3区	8,925,300	住友重機械横須賀製造所横須賀造船工場護岸壁南端から東北防波堤西端まで引いた線、同防波堤、横須賀港東北防波堤東灯台（北緯35度19分09秒東経139度40分31秒）から北緯35度18分32秒東経139度41分58秒の地点まで引いた線、同地点（以下D地点という。）から215度に引いた線（以下E線という。）、A線、C線、及び陸岸により囲まれた海面	各種船舶及び危険物を積載した船舶。
第4区	10,086,900	D地点から0度に引いた線(以下F線という。)第3区境界線、港界線及び陸岸により囲まれた海面	各種船舶及び危険物を積載した船舶。
第5区	21,858,400	観音埼灯台から90度に引いた線（以下G線という。）E線、F線、港界線及び陸岸により囲まれた海面	各種船舶。ただし、沿岸付近に限る。
第6区	4,560,800	千代ヶ埼から70度に引いた線、G線、港界線及び陸岸により囲まれた海面	各種船舶。
第7区	6,590,000	第1区から第6区までを除いた港域内海面	各種船舶及び係留施設に係留する場合における危険物を積載した船舶。ただし、総トン数300トン未満の漁船及び雑種船は、沿岸付近に限る。

(3) 水域施設

a) 泊地

種別	地区	名称	面積(㎡)	水深(m)
被覆内	長浦地区（第2区）	長浦2号泊地	293,000	－10.0
	本港地区（第1区）	本港1号泊地	217,000	－10.0
	浦賀地区（第6区）	浦賀2号泊地	20,250	－5.0
		浦賀3号泊地	101,550	－8.5
	久里浜地区（第7区）	久里浜2号泊地	40,778	－7.5
		久里浜3号泊地	68,222	－9.0
被覆外	追浜地区（第3区）	夏島泊地	229,100	－12.0
	長浦地区（第2区）	長浦1号泊地	102,900	－5.0
	新港地区（第3・5区）	新港泊地	593,700	－10.0
	浦賀地区（第6区）	浦賀1号泊地	239,130	－6.5
	久里浜地区（第7区）	久里浜1号泊地	476,200	－9.0
		久里浜A錨地B錨地	207,300	－35.0
	第4区（検疫錨地）	港外泊地	6,136,050	－9.0
	計		8,725,180	

深浦ボートパークと周辺の工場や造船所（深浦地区）

b) 船だまり

地区	名称	面積(㎡)	水深(m)
深浦地区（第2区）	深浦船だまり	114,000	－3.0
	船越船だまり	45,300	－4.4
長浦地区（第2区）	田浦船だまり	44,440	－4.4
	長浦ふ頭船だまり	38,080	－3.0
本港地区（第1区）	吾妻船だまり	38,800	－4.0
	逸見船だまり	104,550	－5.0
平成地区（第5区）	平成船だまり	42,056	－5.0
	東浦賀船だまり	32,550	－5.0
浦賀地区（第6区）	西浦賀1号船だまり	14,950	－2.5
	西浦賀2号船だまり	14,410	－5.0
久里浜地区（第7区）	久里浜北船だまり	20,400	－4.5
	計	509,536	

馬堀海岸アートペイント『うみかぜ画廊』（馬堀地区）

(4) 係留施設

a) 岸壁、桟橋、浮桟橋（－4.5m以上）

種地	区名	名称	管理者	延長(m)	水深(m)	機能力(D/W)	船席
公共	追浜	夏島岸壁	横須賀市	120	-4.5	700	1
	新港	新港1号岸壁	〃	200	-10.0	15,000	1
		新港2号岸壁	〃	200	-10.0	15,000	1
		新港3号岸壁	〃	240	-4.5	700	4
		新港4号岸壁	〃	65	-4.5	700	1
		新港1号桟橋	〃	90	-5.5	2,000	1
		新港2号桟橋	〃	90	-5.5	2,000	1
		新港3号桟橋	〃	130	-7.5	5,000	1
	平成	平成1号岸壁	〃	120	-4.5	700	2
		平成2号岸壁	〃	270	-5.5	2,000	3
	久里浜	久里浜岸壁	〃	220	-6.5	3,000	2
		久里浜1号岸壁	〃	260	-7.5～-9.0	16,000/7	1
		久里浜2号岸壁	〃	80	-5.0	1,000	1
		長瀬岸壁	〃	140	-4.5	700	－
	計			2,225			22
	その他（米軍・防衛省）			6,049			53
専用	追浜	住重構造製造所鋼材岸壁	住友重機械工業（株）	656	-9.0	300,000/7	2
		住重構造製造所水切岸壁	〃	60	-6.0	700	1
		海洋研究開発機構桟橋	国立研究開発法人海洋研究開発機構	220	-8.0	8,680/7	2
		日産1・2号桟橋	日産自動車(株)	435	-12.0	34,000/7	2
		日産3・4号桟橋	〃	260	-7.5～-12.0	15,000	2
		日産5号桟橋	〃	90	-5.5	2,000	1
		日産6号桟橋	〃	185	-10.0	18,000	1
	長浦	海上保安部5号浮桟橋	第三管区海上保安本部	60	-5.0	－	2
	本港	本港1号浮桟橋	(株)トライアングル	38	-4.8	－	2
	新港	シーポニア浮桟橋	(株)エスパルスドリームフェリー	20	-6.7	－	1
	浦賀	サニーサイドマリーナ岸壁	潮騒サニーサイドマリナ(株)	47	-5.0	1,000	1
		サニーサイドマリーナ中突堤	〃	33	-5.0	700	1
		住重浦賀工場東岸岸壁	住友重機械工業（株）	545	-6.5～-9.0	33,000	3
	久里浜	東電B岸壁	JERA(下)一横須賀合同会社	100	-5.0	1,000	1
		東電C岸壁	〃	416	-9.0	10,000	2
		東電D岸壁	〃	282	-11.5	10,000	1
		東京湾フェリー(株)1号桟橋	東京湾フェリー(株)	74	-5.5	3,580/7	1
		東京湾フェリー(株)2号桟橋	〃	71	-5.5	3,580/7	1
	計			3,592			27
合計				11,866 m		船席	102 席

b) 物揚場・桟橋・浮桟橋・船揚場（水深－4.5m未満）

施設別 ＼ 施設数と延長		合計 施設数	合計 延長(m)
公共用	物揚場	32	2,396
	桟橋	12	295
	浮桟橋	17	283
	船揚場	13	1,015
	計	74	3,989
専用	物揚場	10	909
	桟橋	14	491
	浮桟橋	31	1,388
	船揚場	7	321
	計	62	3,109
合計		136	7,098

※米軍・防衛省含む、ボートパークを除く

c) 係留浮標（公共用）

地区名	名称	最大係船能力（トン）
長浦	N_{10}	800
	N_{12}	800

※ボートパークを除く

d) ボートパーク

地区名	名称	艇長(m)	係留可能数
深浦	深浦ボートパーク浮桟橋	～12	99
	深浦ボートパーク係船浮標	－	20
浦賀	浦賀ボートパーク浮桟橋	～10.5	65

※放置艇対策事業としてボートパークを整備
※お問い合わせは直接 Maris&KMBP共同事業体(深浦:046-865-4532、浦賀:046-844-8955)へ

(5) 駐車場

（令和4年(2022年)4月1日から）

区分	深浦ボートパーク駐車場	浦賀ボートパーク駐車場	うみかぜ公園駐車場		海辺ウリ公園駐車場	
種別	普通自動車	普通自動車	大型自動車	普通自動車	普通自動車	
台数	53	12	2	182	95	
指定管理者	Maris&KMBP共同事業体 046-865-4532	Maris&KMBP共同事業体 046-844-8955	よこすかseaside パートナーズ 046-826-2899		よこすかseaside パートナーズ 046-822-4022	

(6) 荷さばき施設と保管施設

a) 荷さばき地

所在地	経営者	面積(㎡)
浦郷	横須賀市	1,010
深浦	〃	591
長浦	〃	5,989
新港	〃	15,443
平成	〃	30,568
西浦賀	〃	2,919
長瀬	〃	17,822
久里浜	〃	17,153
計		91,495

全国有数の冷凍マグロ取扱港湾（新港地区）

b) 野積場

所在地	経営者	面積(㎡)
新港	横須賀市	36,130
久里浜	〃	28,349
計		64,479

c) 上屋及び倉庫

種別		名称	所在地	経営者	棟数	総床面積(㎡)	構造 主要用材	構造 階数
上屋	公共専用	新港上屋	新港ふ頭	横須賀市	1	2,312	鉄骨鉄筋コンクリート	一部2階
				民間	1	280		
倉庫	専用			民間	21	50,311		

(7) 給水施設（公共用）

種類	給水場所	経営者	数量	備考
水栓	長浦1号物揚場	横須賀市	1栓	口径65ミリ
〃	新港1号桟橋	〃	3栓	〃
〃	新港2号桟橋	〃	2栓	〃
〃	新港3号桟橋	〃	3栓	〃
〃	新港1号岸壁	〃	4栓	〃
〃	新港2号岸壁	〃	4栓	〃
〃	新港3号岸壁	〃	2栓	〃
〃	新港4号岸壁	〃	1栓	〃
〃	平成2号岸壁	〃	3栓	〃
〃	浦賀物揚場	〃	2栓	〃
〃	久里浜岸壁	〃	4栓	〃
〃	久里浜1号岸壁	〃	1栓	〃
〃	久里浜2号岸壁	〃	1栓	〃

走水海岸（走水地区）

(8) 港湾環境整備施設（公共用）

海浜 名称	海浜 延長(m)	緑地 名称	緑地 面積(㎡)	その他 名称	その他 面積(㎡)
走水海浜	965	浦郷みなと緑地	2,715	走水観音崎遊歩道	1,740
観音崎海浜	190	新港地区緑地	8,512		
たたら浜	210	うみかぜ公園	52,506		
		平成地区緑地	12,433		
		海辺つりし公園	23,148		
		西浦賀みなと緑地	6,298		
		久里浜みなと緑地	2,789		

(9) 港湾関係官公署

名称	所在	電話番号
東京出入国在留管理局横浜支部	横浜市金沢区鳥浜町10-7	045-769-1720
横浜税関横須賀税関支署	横須賀市庄司浦港町無番地	046-861-1281
横浜検疫所横須賀・三崎出張所	〃	045-201-4456 横浜検疫所健康課
横浜植物防疫所（東京国本部横浜植物防疫所）	横浜市中区北仲通5-57 横浜第2合同庁舎	045-211-7152
東京湾海上保安部	〃	045-225-9118
横須賀海上保安部	横須賀市田浦港町無番地	046-861-8366
関東地方整備局東京湾口航路事務所	〃 新港町13	046-828-8366
国土交通省国土技術政策総合研究所	〃 長瀬3-1-1	046-844-5006
国立研究開発法人 港湾空港技術研究所	〃 長瀬3-1-1	046-844-5010

(10) 港湾関係諸団体

名称	所在	電話番号
(公財)海上保安協会横須賀支部	横須賀市田浦港町無番地	046-861-8366
港湾労災防止協会神奈川横須賀支部	〃 新港町13	826-3363
(一財)横須賀港湾福利厚生協会	〃 新港町13	826-3363
関東海事広報協会横須賀支部	〃 新港町13	826-3363
(一財)港湾職員センター関東事務所 横須賀研修所	〃 新港町13	826-3660
横須賀運輸港湾振興興会	〃 新港町13	826-3363
横須賀運港倉庫	〃 新港町13	826-3363
横須賀港運協会	〃 新港町13	826-3363
横須賀港湾物流協同組合	〃 新港町13	826-3363
横須賀市東部漁業協同組合	〃 平成町3-4	822-1052
神奈川県トラック協会横須賀ブロック横須賀支部	〃 森崎1-16-11	834-6685

(11) 港湾関係事業者

港湾運送事業法第4条にあたる港湾運送事業者

事業者名	一般貨物運送事業	港湾荷役事業 無限定	港湾荷役事業 限定	港湾荷役事業 無限定	港湾荷役事業 限定	船内限定 無限定	船内限定 限定	沿岸限定 無限定	沿岸限定 限定	電話番号
相模運輸倉庫(株)	○					○	○	○	○	046-861-3111
相模船舶作業(株)		○								860-1550
昌栄産業(株)				○						835-3300
横荷企業(株)								○	○	861-4886
(株)パンテック	○									865-5998
住重横須賀工業(株)								○	○	869-1707
山万(株)横浜支店						○	○	○	○	045-662-6239
日本通運(株)豊沢支店									○	045-212-7318 (横浜支店)

港湾労働者福祉センター

名称	所在	電話番号
横須賀新港港湾労働者福祉センター	横須賀市新港町13	046-826-3363

5 利用状況

(1) 入港船舶年次表（最近5年間）

年次	合計 隻数	合計 総トン数	外航 隻数	外航 総トン数	内航 隻数	内航 総トン数
平成28年	15,424	29,563,941	178	4,107,830	15,246	25,456,111
平成29年	15,363	27,857,709	106	2,292,865	15,257	25,564,844
平成30年	15,409	27,836,659	107	2,467,202	15,302	25,369,457
令和元年	15,091	27,178,396	104	2,415,815	14,987	24,762,581
令和2年	14,972	25,562,526	99	2,397,871	14,873	23,164,655

(2) 海上出入貨物年次表（最近5年間）

（単位：トン）

年次	合計 計	合計 輸移出	合計 輸移入	外国貿易 計	外国貿易 輸出	外国貿易 輸入	内国貿易 計	内国貿易 移出	内国貿易 移入
平成28年	9,428,860	4,240,964	5,187,896	1,011,116	790,599	220,517	8,417,744	3,450,365	4,967,379
平成29年	9,775,207	4,720,328	5,054,879	591,612	443,532	148,080	9,183,595	4,276,796	4,906,799
平成30年	10,286,030	4,976,191	5,309,839	726,683	585,447	141,236	9,559,347	4,390,744	5,168,603
令和元年	9,036,466	4,275,336	4,761,130	660,741	578,270	82,471	8,375,725	3,697,066	4,678,659
令和2年	7,572,870	3,300,189	4,272,681	730,295	365,680	364,615	6,842,575	2,934,509	3,908,066

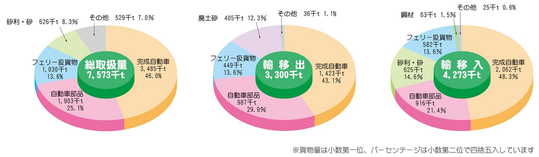
(3) 海上出入貨物地区別取扱表（令和2年）

（単位：トン）

地区名	合計 計	合計 輸移出	合計 輸移入	外国貿易 計	外国貿易 輸出	外国貿易 輸入	内国貿易 計	内国貿易 移出	内国貿易 移入
計	7,572,870	3,300,189	4,272,681	730,295	365,680	364,615	6,842,575	2,934,509	3,908,066
追浜地区	5,087,207	2,044,105	3,043,102	350,287	-	350,287	4,736,920	2,044,105	2,692,815
長浦地区	220,983	44,075	176,908	-	-	-	220,983	44,075	176,908
新港地区	391,759	379,951	11,808	376,088	365,680	10,408	15,671	14,271	1,400
平成地区	270,860	1,840	269,020	-	-	-	270,860	1,840	269,020
久里浜地区	1,602,061	830,218	771,843	3,920	-	3,920	1,598,141	830,218	767,923

家族連れでも楽しめる海辺つり公園（平成地区）

主要品目別出入貨物の構成（令和2年）



※貨物量は小数第一位、パーセンテージは小数第二位で四捨五入しています

(4) 船舶乗降人員（令和2年）

（単位：人）

計	乗込	上陸
505,208	230,528	274,680

専用ふ頭と船橋みされる完成自動車（追浜地区）
提供：日産海運㈱

小笠原海運「おがさわら丸」（久里浜地区）

6 港湾施設使用料

施設名		使用料金	
岸壁・桟橋・物揚場	新港1号・2号岸壁	船舶の総トン数1トンごと 係留12時間まで	10.05円
		係留12時間を超える場合 超過時間12時間までごとに	6.7円
	その他 定期船	船舶の総トン数1トンごと 係留24時間までごとに	5円
	その他 定期船以外の船舶	船舶の総トン数1トンごと 係留24時間までごとに	11円
係船浮標	総トン数1,000トン未満の船舶	係留24時間までごとに	4,920円
	総トン数1,000トン以上3,000トン未満の船舶	係留24時間までごとに	9,850円
上屋	新港 専用使用	1㎡までごとに	1月 780円
	新港 一般使用	貨物搬入の日から15日まで 1㎡または1トンまでごとに	1日 17円
		貨物搬入の日から16日以後 1㎡または1トンまでごとに	1日 35円
荷さばき地	長浦港、浦賀港及び久里浜港(久里浜1号・長瀬) 専用使用	1㎡までごとに	1月 105円
	長浦港、浦賀港及び久里浜港(久里浜1号・長瀬) 一般使用	貨物搬入の日から15日まで 1㎡までごとに	1日 4円
		貨物搬入の日から16日以後 1㎡までごとに	1日 7円
	新港、平成港及び久里浜港(久里浜2号・3号) 専用使用	1㎡までごとに	1月 170円
	新港、平成港及び久里浜港(久里浜2号・3号) 一般使用	貨物搬入の日から15日まで 1㎡までごとに	1日 6円
		貨物搬入の日から16日以後 1㎡までごとに	1日 9円
野積場	専用使用	1㎡までごとに	1月 170円
	一般使用	貨物搬入の日から15日まで 1㎡までごとに	1日 6円
		貨物搬入の日から16日以後 1㎡までごとに	1日 9円
船舶給水		5㎥まで	3,850円
		5㎥を超える1㎥までごとに	770円
		ただし、帆務時間外に船舶給水を行う場合は、その料金の額に5割を加算する。	
船舶給電		1キロワット1時間までごとに	83円

※港湾施設のご利用については、「横須賀港ふ頭管理事務所」〒238-0005 横須賀市新港町13番地 ☎046-874-9017へ
（船舶係留・船舶給水は☎046-823-2694へ）

7 港湾管理者以外の者の料金

※「7　港湾管理者以外の者の料金」内の金額等は、一部表記のあるものを除き、令和4年(2022年)4月1日からのものです。

(1) 定期船運賃

a) 東京湾フェリー(株)

〒239-0831 横須賀市久里浜8－17－20
☎046-835-8855

久里浜～浜金谷港　自動車等航送運賃(運転手1名の運賃を含む)

区分	片道(2日間有効)	往復(往2)(往1日間有効)
軽自動車	660cc・4m未満 乗用・貨物	3,200円 5,800円(2,600円)
普通車	6.0m未満 乗用・貨物	4,100円 7,400円(3,300円)
中型車	7.0m未満 乗用・貨物	6,500円 11,700円(5,200円)
大型車	9.0m未満 乗用・貨物	8,000円 14,400円(6,400円)
特大車	12.0m未満 乗用・貨物	11,000円 19,800円(8,800円)
オートバイ	750cc以上	2,550円 4,620円(2,070円)
	750cc未満	2,100円 3,800円(1,700円)
原付自転車	(125cc未満)	1,800円 3,250円(1,450円)
自転車	大人	1,400円 2,530円(1,130円)
	小人	1,000円 1,800円(800円)

旅客運賃

区分	片道(2日間有効)	往復(往2)(往1日間有効)
大人	800円	1,450(650円)
小人	400円	720(320円)

東京湾フェリー「しらはま丸」（久里浜地区）

b) 東京九州フェリー(株)

〒238-0005 横須賀市新港町11－4
☎046-812-9110（旅客・乗用車）
☎046-812-9112（貨物自動車）

横須賀～新門司港　旅客運賃・自動車等航送運賃(片道)

区分		運賃・料金
旅客運賃(基本運賃)※1	ツーリストA	12,000円
	ツーリストS	6,000円
ルームチャージ料金※1	ステート	32,000円
	デラックス	48,000円
乗用車※2	3m未満	30,000円
	4m未満	35,000円
	5m未満	40,000円
	6m未満	45,000円
二輪自動車	750cc未満	12,000円
	750cc以上	15,000円
原動機付自転車(輪付含む)	個人用・トライク	18,000円
	125cc以下	6,000円
自転車		3,000円
受託手荷物(ペットケージ含む)		6,000円

※1 ツーリストS・ステート・デラックスルームを利用する場合は、旅客運賃(基本運賃)に加え1部屋・1区画ごとにルームチャージが必要
※2 1台あたり運転手1名の旅客運賃(基本運賃)を含む 乗用車は車長が6m以上の場合は1m増す毎に所定の運賃が必要
※小人運賃は旅客運賃(基本運賃)の半額
※乗船日によって運賃・料金は変動する場合あり 詳細は、直接上記へ
※時期により、繁忙期運賃の設定あり

貨物自動車等航送運賃(片道)※別途燃料油価格変動調整金が必要

区分		運賃・料金
貨物自動車等航送運賃※2	3